

| | | | | | |
|---|-----------|--|------|------|--|
| 平成 24 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス | | | | | |
| 教科目名 | 英語B | 担当教員 | 亀山太一 | | |
| 学年学科 | 2年 全学科 | 後期 | 必修 | 1 単位 | |
| 学習・教育目標 | (C-2)100% | | | | |
| 授業の目標と期待される効果： 様々な課題を通して、英語 4 技能の基礎となる基本的な能力を養う。特に、英語らしい発音と語彙力を高めるため、E ラーニング教材等を利用したドリル演習を主として行う。これにより、以下のような技能を高める。 ① 英語らしい発音で、単語や文が言える ② 自然な発音とスピードの英語を聞き取る ③ 高専生に必要な基本的語彙力を身につける ④ 高専生に必要な基本的文法知識を身につける ⑤ 習った英語で簡単な会話ができる | | 成績評価の方法： 中間試験 100 点+期末試験 100 点+授業課題点 200 点 (換算) とし、総得点率 (%) によって成績評価を行なう。 達成度評価の基準： 授業で行った課題と同レベルの問題を試験で出題し、6 割以上の正答レベルまで達していること。なお成績評価への重みは、①～④を同じ割合とする。 ① 語彙力に関する問題をほぼ正確(6 割以上)に解くことができる ② 聞き取りに関する問題をほぼ正確(6 割以上)に解くことができる ③ 文法に関する問題をほぼ正確(6 割以上)に解くことができる ④ 既習の英単語および英文の発音をほぼ正確(6 割以上)に行なうことができる | | | |
| 授業の進め方とアドバイス： 授業では適宜 E ラーニングシステム (ALC NetAcademy2) を利用する。発音については、英語らしくできるよう繰り返し練習することが必要である。 | | | | | |
| 教科書および参考書：「CO CET3300」(成美堂)、E ラーニング教材 (ALC NetAcademy2) | | | | | |
| 授業の概要と予定：前期 | | | | | |
| 第 1 回：授業ガイダンスと E ラーニングシステムの説明 | | | | | |
| 第 2 回：レベル診断テスト、英文法 E ラーニング (Section1)、英語発音練習 (その 1) | | | | | |
| 第 3 回：E ラーニング (Section1)、英語発音練習 (その 1) | | | | | |
| 第 4 回：E ラーニング (Section2)、英語発音練習 (その 2) | | | | | |
| 第 5 回：E ラーニング (Section3)、英語発音練習 (その 3) | | | | | |
| 第 6 回：E ラーニング (Section4)、英語発音練習 (その 4) | | | | | |
| 第 7 回：E ラーニング (Section5)、英語発音練習 (その 5) | | | | | |
| 第 8 回：中間試験 | | | | | |
| 第 9 回：E ラーニング (Section6)、英語発音練習 (その 6) | | | | | |
| 第 10 回：E ラーニング (Section7)、英語発音練習 (その 7) | | | | | |
| 第 11 回：E ラーニング (Section8)、英語発音練習 (その 8) | | | | | |
| 第 12 回：E ラーニング (Section9)、英語発音練習 (その 9) | | | | | |
| 第 13 回：E ラーニング (Section10)、英語発音練習 (その 10) | | | | | |
| 第 14 回：E ラーニング (Section11)、英語発音練習 (その 11) | | | | | |
| 第 15 回：E ラーニング (Section12)、英語発音練習 (その 12) | | | | | |
| 期末試験 | | | | | |
| 第 16 回：フォローアップ (期末試験の解答の解説など) | | | | | |